

歴史・文化にふれる

再見、おきつみの里

名張は萬葉集にも詠まれている地丈けあつて、古雅な町である。(中略)近來俄(にわか)に交通文化に恵まれて来た名張は、将来どう變化して行くだらう。昔のやうな名張をとめの姿は、段々見られなくなるだらうか。古雅であつた名張の言葉も、町の様も、自然に變つて行くであらうか。(田山花袋著『名張少女』の「はしがき」から)



1 宗林寺 芭蕉句碑

2 江戸川乱歩 生誕地記念碑

3 西方寺 吉田蒼人句碑

4 専称寺 喜多村慶女句碑

5 西方寺 奥田小笛句碑

6 丸之内 深井立魚句碑

7 長慶寺 芭蕉句碑

8 桜ヶ丘 関本梁村句碑

9 名張市立図書館 おきつも歌碑

10 名張市立図書館 稲森宗太郎歌碑

11 夏見廃寺 万葉歌碑

12 観阿弥 阿波野青畝句碑

13 新田 円形分水塔句碑

14 新田 系桜歌碑

15 公ねむのき 初瀬街道碑

16 小夏公園 宮城きよなみ句碑

17 小夏公園 糸川歌碑

18 赤四十八滝目 菟山享女句碑

19 極楽寺 森本昌樹句碑

20 鹿高神社 菅笠日記歌碑

初瀬街道
京・大和方面と伊勢を結び、大海皇子・斎王ゆかりの街道。全長約57キロ。江戸中期～明治初期にかけては伊勢参宮、初瀬(長谷寺)詣でにぎわった。



名張市街地図



●赤目四十八滝